

2020年1月6日

各位

三井不動産リアルティ株式会社
代表取締役社長 山代 裕彦

2020年 年頭所感

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年、新たな元号「令和」に改元された日本の経済は、世界経済減速の影響から輸出が力強さを欠いたものの、雇用や所得環境の改善が続き、堅調な内需を中心に緩やかに回復しました。

このような状況のもと、当社の不動産流通事業は、全国売買仲介取扱件数が前年を上回り、堅調に推移しました。また、2019年度上半期には累積売買仲介取扱件数が95万件を超え、100万件まであと少しというところまでできました。事業開始から25周年を迎えた駐車場事業においては、昨年3月に全国47都道府県全てへの展開を完了し、時間貸駐車場の地数・台数ともに拡大しております。カーシェアリング事業においても前年から会員数を大きく伸ばし、首都圏・関西を中心に事業を拡大しました。

昨今、ICTが急速に進化し、スマートフォンやタブレットの利用が浸透したことで、Web上で場所を選ばず手軽に多くの情報を得られるようになりました。こうした流れを受けて昨年当社では、マンションの推定成約価格をWeb上で提示する「リハウスAI査定」や、間取りを軸にした物件検索ができる「間取サーチAI」など新たなサービスの提供を開始しました。今後も引き続き、デジタル技術の活用を一層強化して、お客さまのニーズに応えるサービスの提供に向けて取り組んでまいります。

また、グローバル化や少子高齢化など社会の状況は刻々と変化しており、お客さまのニーズは多様化しています。当社は、社員一人ひとりが自己研鑽に励み、多様化するニーズに合わせて付加価値のあるサービスを提供できる力を身につけ、お客さまに最善を尽くしてまいります。

当社は、昨年7月に50周年を迎えました。お客さまをはじめとする多くの皆さまのご愛顧、ご支援の賜物と心より感謝を申し上げます。この先の50年も選ばれ続ける企業であるために、住まいや街の価値を活かす質の高いサービスを提供していくことで、お客さまや社会のより豊かな未来の実現に貢献してまいります。

最後になりましたが、本年も皆さまの一層のご理解とご支援をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって実り多い一年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

○本資料は、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会に配布しています。

—本件に関するお問い合わせは—
三井不動産リアルティ株式会社
企画部広報グループ: 渡辺・石原 TEL03(6758)4062